

「寒川町公共施設再編計画」および「寒川町立小・中学校適正化等基本計画」の改定に関する町民説明会 概要

1 趣 旨

新たな財政推計と町の人口ビジョンの人口推計に基づき、財政シミュレーションを行い、その結果を受け、学校再配置案の2案の再検証を行い、現時点で最適と考えられる学校再配置案を1つに絞り込みを行った。

その内容を反映して改定をおこなった標記計画の内容について説明するために説明会を開催する。

2 主 催

寒川町、寒川町教育委員会

3 日 時

(1) 令和7年1月18日(土) 10:00～12:00、13:30～15:30

(2) 令和7年1月19日(日) 10:00～12:00、13:30～15:30

4 場 所

1日目：南部公民館

2日目：役場 別館3階 議会第1・2会議室

※オンライン(ZOOM)による参加者あり

5 参加者

10名(4回合計、オンライン参加者含む)

6 要 旨

(1) 開会のあいさつ

副町長から本説明会の開催趣旨を説明するとともに、広く意見を伺いたい旨を説明。

(2) 「寒川町公共施設再編計画」の改定について

(3) 「寒川町立小・中学校適正化等基本計画」の改定について

(2)と(3)の説明で重複する部分があることから、2つの計画について説明した後に一括で質疑を受けた。

(4) 質疑応答

【1日目 午前の部】

(質問)

公共施設再編に関する内容が自治会長へ浸透しておらず、自治会の集まりなどで質問を受けても答えることができない。本日の説明会の内容を自治会長に説明するなり、資料を配布するなりしてほしい。

(回答)

担当部署と調整し、説明会に参加できなかった自治会長の皆様へも情報共有します。

(質問)

一之宮地区や田端地区の児童数が増えていると感じるが、統合校で受けきれぬのか。また、一之宮小学校と南小学校を統合した場合、新たな統合校が南小の敷地で収まるのか。

(回答)

他の自治体における同規模の事例と比較してみても、校舎や校庭の確保は可能で、人口の増加分を想定しても、合体校で対応が可能と考えます。

再配置後 1 学年 1 学級となる学年が発生することが想定されるため、将来的に通学区の見直しが必要となる可能性はあると考えています。

(質問)

一之宮小学校跡地の売却や跡地利用に関する内容が見えてこない。

(回答)

全て売却するのか、一部売却するのかといった内容は、町が一方的に決めるものではありません。

今は将来こうなりますという入口の話をしている段階で、今後話が具体的にになってきた際には、適切なタイミングで皆さんと話し合いを進めていきたいと考えています。

学校の役割が複雑化している中で、地域のまちづくりについて、地域の皆様と話し合いを進めながら考えていく必要があると考えています。

跡地利用についても、今後このような大規模な敷地を活用できる機会はないと思われるので、跡地利用の可能性なども検討して決めていく必要があると考えています。

(質問)

コロナにより増加した車中避難者の受入れ先や、一之宮小学校に設置されている災害時用の 100 t 水槽が統合校にも整備されるのかどうかなど、防災面での町の考えは。

(回答)

地域防災の拠点として学校が果たす役割については、地域と協議・調整を図りながら、災害に対する防災機能強化を図っていきたいと考えています。

【1 日目 午後の部】

(質問)

町の人口推計に記載されている人数の基準について、広報などで公表されている数値と異なっているのはなぜか。

(回答)

記載されている人口の基準の違いについては、住基人口（特定の日全ての居住人口 ※外国人なども含む）と統計人口（国勢調査に基づく人口）の違いです。

直近の人口が出る住基人口をもとに、人口推計を出しているため、数値に差が出ています。

(質問)

町は移住定住の方策に予算を投じているが、効果が表れているのか。

(回答)

具体的にどの政策が効果的だったのか検証はできていませんが、人口の数値が目標を上回っているので、一定程度の効果はあったと考えています。

(質問)

施設分離型での小中一貫校を展開するとあるが、課題を解決できるのか。

(回答)

小中一貫校は、9 年間の中でつながりのあるカリキュラムを組んでいくというのが、小中一貫校の肝です。「施設一体型」と「施設分離型」、双方のメリットデメリットを見た中で、施設分離型の小学校 6 年生が最上級生としての意識や成長を促す指導ができるという点からも、寒川町では施設分離型を目指しています。

(質問)

県の保健所が入るとされていた健康福祉総合センターの建設は中止されたのか。

(回答)

健康福祉総合センターの建設予定は白紙化しました。その中に平塚福祉事務所を誘致する話も、建物が白紙化したため、話が無くなっています。

(質問)

役場、図書館、公民館、夏場のプールなど、どこも駐車場が足りていない状況で、役場の周辺に集約していくのは問題がないのか。

(回答)

にぎわい交流創出ゾーンにおける駐車場を含めた考えは、今後検討していく必要があると感じている。

(質問)

一之宮小学校がなくなることで、災害時の避難場所はどうなるのか。

(回答)

町民の生命財産を守るというのが最大の使命であるため、今後考えていく必要があると考えています。財政的な見地から考えるとD案の優位性が高いですが、災害や地域偏在、人口の動向などの地政学的な面では、B案の方が対応できると考えています。

一之宮小学校跡地を、全て売却すると受けとれがちですが、跡地の土地活用については、地域の皆様と共に、どのように活用していくかも含めて話し合いをしていきたいと考えています。その中で災害に対する論点も話し合っていきたいと考えています。

【2日目 午前の部】

(質問)

学校の再編が行われるタイミングで、集会所などが複合化されていくのか。

(回答)

学校の建替えのタイミングに合わせて複合化していきたいと考えており、地域の皆様からアイデアを頂いて話し合いながら皆さんと一緒に考えていきます。

地域集会所については、地域によって実情が異なるため、要望があれば地域に渡すということも考えられます。

(質問)

私の地域の子は、他の地域と比べて、穏やかでのんびりした子が多い。教員を増やして新しくできる施設を、そのような子たちが和めるような場所としてほしい。

(回答)

ICT の進展に伴い子供たちも変化しています。今後も ICT がさらに進展していく中で、教員と子どもたちが共に付き合っていくかが非常に大事になってきています。

知識習得メインの教育から、知識習得後の活用や判断などが重要になってきています。教育現場でも様々な意見が出るような質問や教材を工夫しています。

教員の増加については、法令上国の役割となっているため、国に教員の増員を要望してまいります。

【2 日目 午後の部】

(質問)

現在、一之宮小学校で手話教室を総合学習の時間に実施しているが、今後一之宮小学校が無くなるということは、生徒の数が減ることとか。南西部の小学校がなくなることには不安がある。一之宮小学校を残すことはできないか。

また、空いた施設を利用する際に、施設利用料を徴収し、町の財源とすることは考えているか。

(回答)

人口推計で一之宮小学校地区の児童が少なくなるという結果が出ています。あまり少なくなると 1 学年 1 学級となりクラス替えができないことや人間関係作りに支障が出てきます。望ましい状態である 1 学年 2 学級以上を維持するため、南小学校との統合を考えています。

施設利用料については、現在も利用料を頂いている施設があり、夜間開放の体育館などは料金を頂いています。

利用料金の水準については、上げすぎると利用者が減ることにもなるので、設定は難しいが、なるべく利用者に負担していただくことを考えています。

(質問)

以前は町の中心に中央公民館があり、現在は町民センターの分室として寒川小学校にあるが、公共施設の再編が行われた場合、町中央部の公民館施設はどうなるのか。

(回答)

学校と同じ敷地内に公民館や集会所を入れていくと、人が集まりにぎわいにつながると考

えていることから、学校の多機能化・複合化を進めていきたいと考えています。

複合化等を検討する際に、学校の機能以外に何の機能を持たせるかは、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

(質問)

町の高齢化が進み不在の住宅（空き家）が多くあり。手入れがされず草が伸び放題になっている。何か改善策は町として考えているか。

(回答)

空き家対策については、本日担当課は出席しておりませんが、状況を確認した方が良いと思われるので、いただいた意見をお伝えします。

(５) その他

事務局から計画改定に関するパブリックコメントを実施していること、町ホームページから説明会と同様の内容を動画で視聴いただけることを説明。

(６) 閉会のあいさつ

教育長から説明会参加に対するお礼と、説明会やパブリックコメントでいただいた意見を参考に、計画をより良いものにしていきたい旨を説明。